

令和8年度夏季研修会について 報告

令和8年8月4日(火) 本校体育館

愛知県総合教育センターから、叶井順子先生、荒川ひとみ先生をお招きし、『読む』『書く』『話す』『聞く』『算数』困難の原因と支援』というテーマで夏季研修会を行いました。今回の研修では、前半に「発達の視点からつまずきの原因を考える」という内容で、発達障害に関する基礎的な知識やアセスメントの方法などについて、一つ一つ丁寧に話をいただきました。後半は「子どもたちの『学びたい』を考える」という内容でグループワークを行いました。前半の講義内容を踏まえて、日頃関わる児童生徒の実態把握や指導すべき課題の整理を行いました。事例を通して、それぞれのグループで活発な意見交換が行われ、具体的な支援を考える貴重な機会になりました。

参加者アンケートからは

- ・具体的な手立てや支援の方法を教えていただき、貴重な学びの時間になりました。
- ・アセスメントの大切さが分かりました。今後の指導に生かしていきたいです。
- ・グループワークを通して、実態把握の重要性を実感しました。
- ・グループワークでは、他校の先生方と意見交換ができ大変参考になりました。

などの声が寄せられました。

また、会場内では、「教材教具の紹介」も行い、実際に本校で活用している教材を手にとって見ていただきました。

- ・気になっていた教具を実際に手に取ることができ、大変参考になりました。
- ・子どもたちが楽しみながらできそうな支援グッズを知ることができてよかったです。
- ・参考になる書籍が多く、付箋が貼ってあって読みやすかったです。

などの声をいただきました。

暑い中、県内の小・中学校の先生方や福祉関係の皆様にたくさん参加していただきました。ありがとうございました。

